



# うばやま

No.11

令和7年9月26日  
校長 蜂須賀 久幸

<https://ichikawa-school.ed.jp/kashiwai-sho>

## 親の先回りをぐっとガマンして、失敗を宝物に！



現代の子供たちは、気持ちのやさしい子が多い反面、傷つきやすく脆いところをたくさん見かけます。ただ、予測不可能な時代を生き抜いていくためには強さが必要です。そういう意味では、子供のたくましさを育成することが課題と言えます。ここで言うたくましさとは、自分の頭で考える力、時と場に応じて臨機応変に動ける力。つまり判断する力のことです。これは、誰にとっても欠かせない力と考えます。

ところで、「失敗は成功のもと」「可愛い子には旅をさせよ」と言われますが、子供に失敗を経験させることも大事であることは、誰もがわかっていること。しかし、頭で理解はしていても、「物事がスムーズに進むように」「がっかりしてしまわないように」「不登校にならないために」などと、ついつい先回りして親が子供の失敗を回避してしまうことがないでしょうか。

子供が困っていると親が判断したとき、困難という壁の高さを考えずに、闇雲にそれを排除しようとしてしまう場面に出会ったことはないでしょうか。親が「先回り」してあれこれと世話を焼きすぎると、子供から失敗することや人との付き合い方を学ぶ場面を奪うことになりかねません。成功する達成感や満足感も大事ですが、失敗を通して子供は学び、自ら判断するための抽斗(ひきだし)を増やして成長していきます。ですから、親が介入しすぎて、いろいろとお膳立てすることは、マイナスの効果にもなりかねません。当然、お膳立てが必要な場合もありますが、そのタイミングやさじ加減が大事なのだと思います。

判断を誤ったことのない人や失敗をしたことのない人は一人もいません。辛い思いもすれば嫌な目にも遭うのが失敗とも言えます。この経験を積み重ねることで、強さが身についていくわけです。親の「先回り」や「過保護」は、子供の免疫力あるいは権利を奪ってしまっているのかもしれない。失敗の少ない子は、成長するチャンスを逃しているとも言えます。

延いては、言われたことだけをやる、または言われなければ何もやらないという、指示待ちで無気力あるいはわがままな子供になってしまうことも危惧されます。当然、自立心も芽生えません。また、ちょっとしたことで傷ついたり、何でも人のせいにしたりする精神的な弱さが随所に露見することにもなりかねません。そこで、様々な人とのコミュニケーションを通じて自己決定の場面を設けることで、発達を促すことを私たち大人は意識していきたいと考えます。

要するに、子供より先に立って障害を振り払いながら歩くのではなく、子供の失敗も成功も後ろから見守ることです。手を出したいのを、グッと我慢することはとても難しいことです。ただし、子供のその時点での力では越えきれない壁の高さだと判断した場合は、助け舟を出したり学級担任や指導者などに相談したりして、一緒に乗り越えていくことが求められます。目の前の「結果」ではなく、子供の将来の「可能性」を信じられるかどうかが大切です。

子供が自分の足でしっかり歩いていけるようにするのが親の役目。その成長には個人差がありますが、小さいうちに小さな失敗をたくさん経験させて、対応力を身につける必要があると思うのです。そのために、親にも「判断力」と「覚悟」が求められそうです。

# 行事予定



柏井公民館コミュニティギャラリー  
児童作品展示 10/4～10/28

頭の体操の答えは「〇」

1	水	委員会活動	16	木	学校運営協議会
2	木	オンライン朝会	17	金	避難訓練（学年により煙中・起震車体験等）
3	金	町探検（学年）②	23	木	人権教室③①
7	火	町探検（グループ）②	24	金	市川市小学校陸上競技大会
8	水	定例研 下校 13:15	28	火	陸上大会予備日
9	木	校外学習① ティンカーベル読み聞かせ	29	水	委員会活動
10	金	前期終了 陸上部・音楽部壮行会 口座引落日	30	木	修学旅行⑥～31日 給食試食会

丸数字は学年です



## 全国学力・学習状況調査結果にみる本校の状況

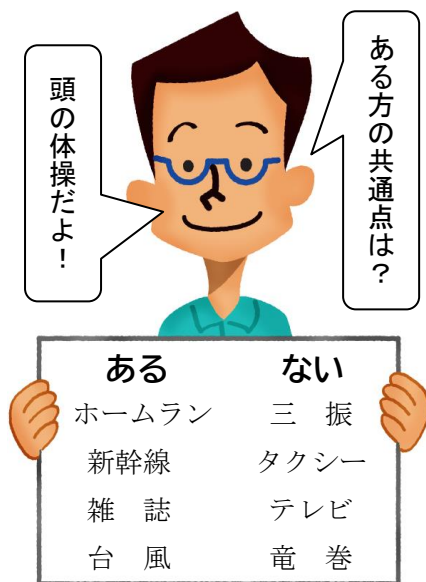
第6学年児童を対象に、令和7年4月17日に実施した3教科の調査結果は下表のとおりです。  
全国あるいは千葉県の前平均正答率とほぼ同程度でした。

しかし、記述式問題での無回答率が高い傾向は全国等と同じですが、時間内に最後の問題までたどり着けなかったことが理由と思われる無回答も多くみられます。似たような出題に慣れることも大切になってきそうです。

また、2年生以上が行った別の学力テストの結果（学年推移）をみると、4年生までの学習の定着がポイントと言えます。つまり、既に学んだ事項を活用して新たな課題への見通しを持つといった、普段の学習の大切さがうかがえます。

	全 国	千葉県	柏井小
【国語】 平均正答率	66.8%	66%	○
【算数】 平均正答率	58.0%	58%	△
【理科】 平均正答率	57.1%	57%	△

◎: 5ポイント以上上回って「良好」  
○: 0～5ポイント未満上回っている  
ので「概ね良好」  
△: 0～5ポイント未満下回っていて  
「やや良好でない」  
▲: 5ポイント以上下回っていて「良好  
でない」



■ 場所 第五中学校 体育館

■ 時間 午前10時～11時

■ 期日 令和7年12月19日（金）

例年、学習発表会は北部（市川市文化会館）と南部（行徳一&ホール）に分かれて一堂に会し、相互に発表し合う合同開催でしたが、見直しが図られ、今年度は第五中学校ブロックの4校による発表会として、左の日程で実施する予定です。

近隣の小中学校で行っていたクリスマス会を発表会の場として相互に見合い、交流することで親睦を深めます。また、刺激しあえる機会にしたいと考えます。

児童生徒の頑張る姿を、ぜひ見ていただきたく、まずは日程のみお知らせします。

## 特別支援学級学習発表会